



今月の一枚

毎週木曜日に行われる順慶寺の掃除（12月17日、順慶寺境内にて 岡川経康氏撮影）

順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺
2021年(令和3年)

1月号

VOL.327

◆◆ コロナ禍のお掃除 ◆◆

順慶寺の掃除は、自主的に集まってくださった皆さんが、独自にクリーン会を結成し、4～5名の班に分かれて、毎週木曜日早朝に実施している。令和2年は、コロナ禍でほとんどの会が自粛となったが、唯一クリーン会のみ通年の実施となった。

◇ 急いで事はし損じる ◇

あけまして、おめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に翻弄され、一年のほとんどの間、活動を制限された状態で過ぎていきました。順慶寺でも、五月に前住職がコロナの緊急事態宣言発令中に亡くなり、多くの皆様とお別れができず仕舞いとなってしまいました。老院においては、七十年も現役の僧侶として法務に就かせていただいたので、お世話になった皆様とゆっくりお別れができず、残念だっただろうと思います。

本年は、こうしたコロナの苦境を何とか無くしたいと心から思いますが、そういった願いをかけることは、かえって我欲を募らせ、また再び苦を生み出す素となると教えるのが、ブツダ世尊。コロナの苦境の中でも、新年にあたって、除夜の鐘の音を聞き、煩惱をはずめ一年の業をみつめ、御本尊様の前に身を置き、静かに新年を始めて行くのが良いと思います。

新年にあたり、最初を選んでブツダの言葉は、『①ダンマパダ』（法句経）の一節から



今月のブツダの言葉

あせつて悩む中でも

落ち着いて日々を生きよう

若院のテーマカット NO.22



「貪る人たちの中であって
わたしたちは、貪らず幸せに生きよう。
貪る人たちの中であって
わたしたちは、貪らずに生きよう」
（第一九九偈）

です。

私たちは、困難につき当たると、いち早くこの場から抜けだそうとしますし、反対に、やりたいことがあればすぐに飛びつきます。しかし、ことをおこすとき、そういった気持ちをおさえて、一度冷静になることは必要だと思えます。まさに、急いで事はし損じます。



◇手を合わせて心を納める◇

人は、追い詰められるとどんなことをしてかすか分からない。これを一番実感したのは、昨年亡くなった前住職の介護をしていたときです。

老院は、亡くなる前、要介護五となり、身のやりどころがなく苦しんだ上に、ひどい譫妄(せんもう)が出て、いわば地獄の苦しみを味わいました。ようやく眠りについても長くは寝られず、目が覚めると、鬼のような目つきで介護する私たちをにらみました。おそらく、夢の中で、今までの業苦を思い出し、地獄に行ったような気持ちで目が覚めたのでしょう。

老院を介護する間、毎晩、車椅子に乗せて本堂でお夕事。ベッドに戻る前に、何とかトイレに腰をおろして用を済ませ、着替え。睡眠薬と鎮

痛剤を飲ませてから、おやすみを言います。このときは、安らかな顔になって、「おやすみ」と言うのですが、一時間もしないうちに、「オーイ!、オーイ!」

と、苦情がきます。その後は、鬼のような老院と一時間おきに対面となりました。

こうしたことが、一週間も続くと普通の精神状態を保つのが難しいもの。当初は、仏様になられる方をお世話させていただくのだから、と一杯尽くせてもらった心が、いつしか、鬼になります。老院を睨み返したり、カーツときたりしました。ところが、次の朝、本堂でお朝事するとき、阿弥陀様の前で手を合わせると心がおさまっていくのです。今思い返すと、阿弥陀様に救って頂いたのは、自分だと実感します。

①【ダンマパダ】(ウイキペディアより)

仏典の一つで、仏教の教えを短い詩節の形で伝えた、韻文のみからなる経典である。パーリ語で「真理」法(巴: dhamma)の言葉(巴: pōḍa)という意味であり、伝統的漢訳である「法句」とも意味的に符合する。

『法句経』の名称は、上座部仏教

圏の『ダンマパダ』と同一系統の

経典が北伝し、中国仏教にて漢訳された際の伝統的名称だが、近代以降の『ダンマパダ』の日本語訳(漢訳)名としても(「ダンマパダ」「真理のことは」等と並んで)用いられることがある。パーリ語版は、二十六章に分かれており、四二三の詩節を収録する。

念仏を欲ぶ人 妙好人の世界

[第100回]

《味おうてくれ》
ものだねきちべえ
物種 吉兵衛 (8)

《死ぬる覚悟はあるか》

堺の妙好人、吉兵衛。三十五六歳のころ、仏法聴聞を重ねるうちに、阿弥陀様のお慈悲に逢いながら、「このまま死んで行けません」という思いがこみ上げて、身重だった妻のぶをおいて、三年にも及ぶ仏法遍歴の旅に出かけ、帰ったときには、妻のぶには岩という子供が生まれていました。これほど、遍歴を重ねた吉兵衛でしたが、「聞けば聞くほど、我に値打ちがないことが知れてくる」と同行に語り、まだ、平生(へいぜい)から仏法を慶ぶ境地に

達することはできませんでした。

答えのないまま、仏法聴聞を重ねていくうちに、四十二歳のとき、医者も手放すほどの大病にかかってしまいました。親族一同、吉兵衛のことを心配して集まってきましたが、その時、医者に向かって吉兵衛が、
「先生、私は死ぬる覚悟ですが、あなたは脈ばかりを見て歩いてござるが、その覚悟は出来てござるか」
と聞きました。あわてて、傍らにいた親族が、
「病に浮かされてそのようなこと申しまして」
と言いつつ、吉兵衛は、
「病に浮かされてやない。本気やで」と答えたといいいます。

答えのないまま死んでいけぬ吉兵衛の悩みは、診察に来た医者にまで向けられたのでした。

《第九回 二河譬》

二河とは火の河と水の河のことで、燃え盛る怒りのころと暗く底の見えない貪りのころを例えているそうです。

最近では夜YouTubeなどで夜更かしをしていますが、これもと再生してしまうのですが、夜更かしするたびに二河にとらわれて抜け出せない自分があるなど痛感します。

子と共に

長男です!
(そつなんです)



今年、五月に前住職の老院が亡くなり、四月に大学を卒業し同朋大学に編入学した長男が、法務に出させていただくことも多くなりました。

ジェンダーレスのこのご時世、小さい頃から、「長男だから」「お兄ちゃんだから」「男らしく」とあまり言わず育ててきたつもりですが、ちよつと葉が効きすぎたのか、この期に及んでしまったってのんびりしています。

今年話題の『鬼滅の刃』の主人公、炭治郎は、ことあるごとに「僕は長男だから!」

と、必死に妹を守ります。まさか、このご時世でこんな主人公が大人気とは驚きです。

そういえば、老院も長男でした。大きくなった今だからこそ、炭治郎や老院のように、「長男です!」と奮起してもらいたいです。

佳帆子

高校生活も残りわずか。コロナに負けるな!

令和2年 コロナに翻弄された一年を振り返る

国の主な動き

- 1月6日 中国 武漢で原因不明の肺炎 厚労省が注意喚起
- 1月14日 WHO 新型コロナウイルスを確認
- 1月16日 日本国内で初めて感染確認 中国籍の男性
- 1月30日 WHO「国際的な緊急事態」を宣言
- 2月3日 乗客の感染が確認されたクルーズ船 横浜港に入港
- 2月13日 国内で初めて感染者死亡 神奈川県に住む80代女性
- 2月27日 安倍首相 全国すべての小中高校に臨時休校要請
- 3月9日 専門家会議「3条件重なり避けて」と呼びかけ
- 3月24日 東京五輪・パラリンピック 1年程度延期に
- 3月29日 志村けんさん死去
- 4月16日 「緊急事態宣言」全国に拡大
- 5月20日 夏の全国高校野球 戦後初の中止決定
- 5月25日 緊急事態の解除宣言
- 7月22日 「GoTo トラベル」キャンペーン始まる
- 7月29日 国内の1日の感染者 1,000人超 岩手で初確認
- 11月10日 政府分科会が緊急提言「急速な感染拡大の可能性も」
- 11月19日 国内感染者数 2388人。
- 11月20日 政府分科会「Go To キャンペーン」見直し求める
- 11月25日 西村経済再生相「この3週間が勝負」
- 12月8日 英でワクチン接種が始まる
- 12月9日 英でワクチン接種の2人に激しいアレルギー反応
- 12月15日 GoTo トラベル全国一時停止へ
- 12月18日 厚労省がワクチンの2月下旬の接種開始準備を指示

順慶寺の動き

- 2月28日 緊急責役四役会を開催。年番会の中止を決定
- 3月19日 臨時責役四役会を開催。コロナ対策を発表
 - ・蓮師会を役員のみでの内勤めと決定
 - ・護寺会総会を延期 ・例会等を一旦自粛
- 4月11日 臨時責役四役会を開催。
- 5月11日 臨時責役四役会を開催。コロナ追加措置を発表
 - ・総会の中止を決定 ・総会資料を配布
 - ・護寺会費を集めないことを決定
 - ・例会等の自粛の延長、公開講座中止を決定
- 5月17日 順慶寺老院逝去（89歳）5月22日 密葬
- 6月1日 臨時責役四役会
- 7月3日 順慶寺老院本葬
- 7月10日 定例責役総代会。後期日程を検討
 - ・盆会、祠堂法要、報恩講を特別措置で実施と確認
 - ・例会を本年度自粛とすることを決定
- 8月9日 盆会を開催（お勤めのみ）
- 9月12日 祠堂法要を開催（お勤めのみ）
- 11月14日・15日 報恩講を開催（本年度初めて法話を実施）
- 12月31日 修正会（年越し勤行）を開催



老院本葬の様子→



今年の報恩講での法話



大法要の受付の様子



すす払いの様子（順慶寺境内、岡川経康氏撮影）

◆暮れにすす払い—さる十二月十七日、泉田・今川地区の総代が声を掛け合って、本堂や山門、鐘楼などのすす払いが行われた。すす払いの簀は、責役の相木国男氏が、自らの竹林から持ち寄ってくださったもの。

編集部短信

- 12月8日 寂 岡田鈴枝(91) 今川町 岡田弘美様の母
- 12月6日 寂 志水貴幸(27) 岡崎市 志水幸夫様の子
- 12月30日 寂 清水智徳(84) 平松組 清水康之様の父
- 11月30日 寂 本間幸代(84) 大府市 本間智昭様の母
- 12月8日 寂 神谷かず枝(99) 泉田町(元 大久屋前川組)
- 12月9日 寂 近藤恵子(60) 稲沢市 近藤悟様の妻
- 12月8日 寂 清水美代子(96) 平松組 清水安文様の母
- 12月8日 寂 清水美代子(96) 平松組 清水安文様の母

12月度護寺会物故者

光融院 釋尼妙幸

圓融院 釋瑞徳

香源院 釋貴珠

釋尼貞鈴

釋尼観恵

清照院 釋尼妙代

教乘院 釋尼妙恵

釋尼観恵

清照院 釋尼妙代

教乘院 釋尼妙恵

釋尼貞鈴

清照院 釋尼妙代

教乘院 釋尼妙恵

釋尼貞鈴

清照院 釋尼妙代

教乘院 釋尼妙恵

編集雑記

令和二年は、コロナで全く寺の事業ができず、不本意な一年となってしまいました。この思いは、総代さんも一緒に、今年は、すす払いをしようとして出してくれました。おかげで、すす払いされた本堂に、心も洗われたと思います(住)。

.....

今年から本格的にお取越をまわらせてもらっています。まだまだ分からないことも多く行く先々で学ぶことばかりです。去年まで一緒にまわっていた老院の姿を思い出しながら、日々奮闘中です(若)。





1月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	金	修正会(大晦日23:45~、順慶寺)	
2	土		
3	日		
4	月		
5	火		
6	水		
7	木		木-1
8	金		
9	土		
10	日		
11	月	今川西組お取越 成人の日	
12	火		
13	水	山ノ端組お取越	
14	木	今川東組お取越	木-2
15	金		

16	土		
17	日		
18	月		
19	火		
20	水		
21	木		木-3
22	金		
23	土		
24	日		
25	月		
26	火		
27	水		
28	木	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺にて内勤め)	木-4
29	金	下高根・荒井地区お取越	
30	土		
31	日		

1月行事内容 詳細

修正会(年越し勤行)

12月31日から元旦

大晦日23時45分~ 順慶寺

コロナ禍の中、本年も大晦日から元旦にかけて、修正会(年越し勤行)を左記の日程の通り実施いたします。

《修正会日程》 12月31日~元旦

- 23時30分 山門開扉
- 23時45分 本堂お勤め始め
- 24時15分 鐘楼除夜の鐘始め
- 24時30分 住職年頭挨拶
- 24時30分 終了

※当日、新型コロナウイルス感染症に対する対処として、参詣者にはマスクの着用、アルコール消毒のお願いをします。堂内では、座席の間隔を取り(座席は三十席まで)、お勤め中でも任意に入りができるように、扉をあけておきます。また、本堂での焼香、お屠蘇やお汁粉の接待は中止いたしますが、お土産と温かいお汁粉の缶ジュースを準備いたします。

※除夜の鐘は、打鐘を願う人には、必須で手指のアルコール消毒をしていただく予定です。

※本年に限り、順慶寺における修正会の模様をライブ中継します。左記のQRコードを参照してください。

ライブ中継はこちらから



https://youtu.be/7he.BTWb-E8
中継時間 大晦日 23:40 ~ 24:30

おしらせ

●令和3年のコロナ対策について
令和3年1月以降の順慶寺の諸事業ですが、依然新型コロナウイルス感染がひろまっている状況ですので、令和2年度同様引き続き例会等の事業を自粛の状態を継続します。

ただし、令和3年度の始まる4月以降については、2月以降に行われる四役会および教化委員会の決定を待つて、護国寺事業、例会などの対応を決める予定です。

じゅんこのときめき歳時記

お雑煮

新年あけましておめでとうございます。
昨年、コロナで大変でしたね。去年、入学した皆さんは、四月から授業がなかったの、お友達をつくらなかったの、学校になれるのが大変だったと思います。私も、四月から新入学となるので、ちょっと不安です。

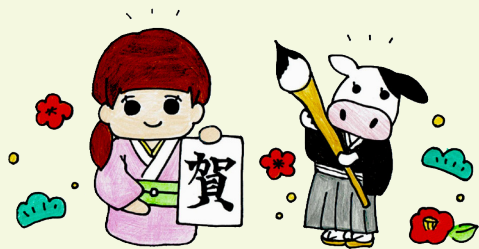
お雑煮の

おかはり育ち盛りかな

稲畑汀子



お雑煮を食べることになっています。正月の一杯目のお雑煮は本当に美味しいです。でも、何故か二回目のお雑煮は、お腹にもたれる感じがす。みなさん、どうですか。



本年もよろしくお祈りします